

巻頭インタビュー

介護の現場で働くということ



伊藤チャリト さん
キングスガーデン
デイサービス



菅原マリア さん
キングスタウン
特別養護老人ホーム



軍司マリヴェル さん
キングスタウン
ショートステイ

フィリピン共和国出身 気仙沼市在住

——ご出身がみんな同じところなのですね？

マリヴェル そうです。ルソン島のサンパレスという地域です。

チャリト 気仙沼に居るフィリピン人はビサヤの出身が多いのですが、私たちは3人ともルソンのサンパレスで、言葉も共通です。

マリア イロカノ語という言葉で、タガログとは全く違います。もちろん、タガログも話します。

——気仙沼にいらして何年になりますか？

マリア 16年です。来たときは全く日本語ができず、苦労しました。ほどなく子どもを授かりましたが、病院には一人で行けないので、義父がついてきてくれました。それはとても心強かったです。

マリヴェル 私たちは3人とも同じところに気仙沼にお嫁にきました。出産、子育ては日本語が分からず困ったことも多かったのですが、夫が手伝ってくれるのでまあ何とかやってこられました。

チャリト 来たばかりのときは全く日本語ができなかったのですが、ひとりで家にいるよりいいだろうと、夫の知り合いの水産加工工場で働くことになりました。カニの足を解体したり、寿司ネタを作ったり。そして、昼休みは他のパートのおばちゃんたちがおしゃべりしている脇で、一人で黙々と日本語を勉強していました。そんな生活が14年続きました。

——震災当日のことをお聞きしたいのですが…

チャリト 私はその日たまたま休みだったので家にいました。家がちょっと高いところにあったので、幸いそれほど怖い思いもせず無事でした。

マリア 私は水産加工の仕事を10年以上続けていて、あの日も仕事をしていました。地震の後、すぐに帰宅するよう言われ、帰りました。自宅にはすでに子どもふたりが帰ってきていて、私の顔



利用者さんとエクササイズする伊藤チャリトさん

を見た途端、泣き出しました。

マリヴェル 私も水産加工の仕事中でした。帰るように指示があり車に乗りましたが、すぐに渋滞で全く動かなくなりました。そして、車がふわっと浮かんで…車がまるで船のように波の上に浮かんでいました。しばらく流された後、2階建てのアパートに車がひっかかりました。そのアパートにいた人に手を引いてもらい、なんとか後部座席の窓から脱出しました。そのアパートで一晩過ごし、翌日水が引いたところで家に帰りました。幸い家族も無事でした。

——震災前から気仙沼に暮らすフィリピンの人たちはみんな知り合いだったのですか？

マリア 子育て中だったので、地元のカトリック教会に行くことも難しく、震災前は知り合いが少なかったです。

チャリト 震災前は気仙沼地域のフィリピン人で知っている人は10人ぐらいしかいませんでした。支援物資を配ることになり、知っている10人の知り合い、友だちをたどっていったら、60人以上いてびっくりしました。

マリヴェル 震災後、チャリトさんや高橋レイシェルさんが中心になってバヤニハンというフィリピンコミュニティグループを立ち上げました。ですから、震災前よりも知り合いも増えましたし、集まる機会も増えました。

——介護の仕事をする経緯についてお聞きます。

チャリト 私たち3人ともそうですが、働く場所を失いました。水産加工の現場が復旧するのは時間がかかりそうでしたし、とにかく仕事をしなければと思いました。介護職は気仙沼にもたくさん求人があるようでしたし、家庭内での応用もできそうだったので、とても興味がありました。

マリア 東京から難民支援協会が被災地支援で気仙沼に来ていて、在住外国人支援活動を行っていました。私たちが仕事をしたいと訴えたところ、気仙沼市役所などとも話を取り付けて、ホームヘルパー2級取得のための外国人向け勉強会を開いてくださることになりました。

マリヴェル 私たち3人は、その一期生です。2011年の6月から勉強が始まりました。クラスは9名で、フィリピン人のほかにチリ人もいました。第二期には中国人も入っていました。週1回、土曜日ほぼ丸一日の学習が11月まで続けました。

——勉強してみてどうでしたか？

マリア やっぱ漢字が難しかったです。分厚いテキストが数冊あり、漢字がびっしり。めまいがしました。

マリヴェル 気仙沼市小さな国際大使館担当の村上さんや日本語のボランティアのみなさんには本当にお世話になりました。テキストの重要なところに全部ルビを振っていただきました。

チャリト それから、レポートの添削も毎回丁寧にしてくださいました。私たちだけでは決してできませんでした。

——課題と実習をクリアして資格をとり、就職をされて早1年半余り。いかがでしたでしょうか？

チャリト 来たばかりのときは利用者さんの前での当番制のスタッフスピーチがとても緊張しました。フィリピンのことを紹介したりするとみなさんとても喜んでくれます。エクササイズのとときに「One two three…」と英語でやってみたら、いまでは利用者の方々が「ワンツースリー」と一緒に言うようになりました。

マリア 私は外見が日本人に見えるみたいで、こちらから言わない限りは外国人とは気づかれないようです。覚えることが多くて間違いが許されない職場ですので、最初はたいへんでしたが、いまは次の目標もできて、充実しています。

マリヴェル そうそう。この仕事をしてほんとによかったと思います。水産加工の仕事も楽しかったのですが、こちらは自分がもっと頑張れば、相談員、ケアマネジャーと次のステージに進むことができます。非常に張り合いがあります。

チャリト それと、方言ですね。私たちは気仙沼の生活が長いので、お

年寄りの方言もだいたい分かりますが、日本の方でも気仙沼以外から来られた方はたいへんみたいです。「つんぬぎ(※)」って分かりますか？方言の理解もこの仕事にはとても大切なことだと思います。

——最後に、ご家族は皆さんを応援して下さっていますか？

マリヴェル 夫も子どもも頑張ると言ってくれています。

チャリト 勉強を始めたころ、夫は「ほんとにできるのか？」と思っていたようですが、いまはいろいろと協力してくれています。

マリア 私は夫を五年前に亡くし、いまは子どもふたりと暮らしていますが、最近、上の息子が自分も高校を卒業したら介護の勉強をしようかなと言っています。とてもうれしかったです。

※気仙沼方言で「袖なしの綿入れ」のこと。

■3人が働く施設の方にもお話を伺いました。

一口に老人介護施設と言っても、デイサービス、ショートステイ、特別養護老人ホームとあって、それぞれ仕事も全く違いますし、スタッフにも向き不向きがあります。ですが、いずれにしても「コミュニケーション能力」が求められる職場です。その点、当施設で働いているフィリピンの方々は全く問題がありません。申し送りを書くことが難しいなど外国人ゆえの困難もあるようですが、対人サービスという面では彼女たちは全く問題がないばかりか、非常に優れた能力をお持ちだと感じています。(キングスタウン森施設長)

外国人スタッフだからと言って特別なことは何もありませんし、その必要もありませんでした。働き始めたときは戸惑う様子も少し見られましたが、昼休みなどには分からなかった言葉をノートに書き込んだりしていました。いまではホワイトボードにお昼の献立をちゃんと漢字を使って書き込むのもチャリトさんの担当です。(キングスガーデン藤田施設長・菅原所長)



JICA宮城デスクからのお知らせ

※JICA=独立行政法人国際協力機構(開発途上国に対する総合的な二国間援助機関で、技術協力・有償資金協力・無償資金協力を行っています。)

TEL.022-275-5540 E-mail jicadpd-desk-miyagiken@jica.go.jp

JICA東北ホームページ <http://www.jica.go.jp/tohoku/>

「国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2013」応募作品募集中

本コンテストは、次の世代を担う全国の中学生・高校生を対象に、開発途上国の現状や開発途上国と日本との関係について理解を深め、国際社会の中で日本、そして自分たち一人ひとりがどのように行動すべきかを考えることを目的として実施しています。

**募集テーマ 「世界と日本の幸せのために
—私がしたいこと、すべきこと—」**

身近な生活の中にも、あなたと世界とのつながりが沢山存在しています。学校の授業、友達との会話、地域での出会い、本や新聞、テレビを通して知り、感じたこと、自分自身の体験から感じたことな

ど、自由な題材であなたの想いを伝えてください。

募集期間:2013年6月13日(木)～9月13日(金)

(※9月13日消印有効)

問合せ先:〒102-0082 東京都千代田区一番町23番地3

日本生命一番町ビル5階

(公社)青年海外協力協会内

「JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2013」係

TEL:03-3556-5926(直通) Eメール:jica.essay@joca.or.jp

このコーナーでは、県内の国際活動団体の2013年8月～9月の活動予定をご紹介します。

MIAイベントカレンダー

2013	8	S	M	T	W	T	F	S	9	S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	

※●はイベント開催予定日です。詳しい内容については以下でご確認ください。

アイコンの見方

主催

会場

時間

申し込み

参加費

電話

FAX

Eメール

HP

8月 AUGUST

8・9月 毎週日曜 8月6～8日(松島灯道)、
9月27・28・30日も開催

瑞巖寺ボランティアガイド

松島善意通訳者の会

瑞巖寺

10:00～15:00

当日受付にて

無料

http://www.geocities.jp/matsushimagw/

8・9月 毎週日曜 8月6～8日(松島灯道)、
9月27・28・30日も開催

円通院ボランティアガイド

松島善意通訳者の会

円通院

10:00～15:00

当日受付にて

無料

http://www.geocities.jp/matsushimagw/

8・9月 毎週土曜

国際語エスペラント講座 塩釜教室

仙台エスペラント会

ビルドスペース(塩釜市港町2-3-11)

13:00～14:00

電話・FAX・メール

初回無料、継続はテキスト代等要

080-3198-4818(ビルドフルーガス高田)

022-389-1620(手塚)

esperanto@goo.jp

http://www.birdflugas.com

8・9月 8月7日～隔週水曜

こんにちは、エスペラント

仙台エスペラント会

みやぎNPOプラザ 研修室

(仙台市宮城野区榎ヶ岡5)

13:30～15:30

電話・FAX・メール

初回無料、継続はテキスト代等要

022-389-1620(手塚)

esperanto@goo.jp

3日・11日

第42回地球の子ども通信国際交流事業

「日本の子どもたちによるシンガポール9日間

ホームステイプログラム」ホームステイのための研修会

地球の子ども通信(CCE)

仙台市桂市民センター(予定)

9:30～12:00

022-376-5382(事務局)

4日

CCE国際交流事業「ニューヨーク州立大学学生と日本の子どもたちとの文化交流会」

地球の子ども通信(CCE)

仙台市青年文化センター交流ホール

9:30～11:30

電話・FAX

022-376-5382(事務局)

8日

せんだい留学生交流委員自主企画

「留学生と教育について語ろう」

公益財団法人 仙台国際交流協会

仙台国際センター1F「交流コーナー」内研修室

18:00～20:00

電話・FAX・メール(担当:佐藤)

無料

022-265-2480((公財)仙台国際交流協会

総務企画課企画係)

022-265-2485(同上)

r-sato@sira.or.jp

http://www.sira.or.jp/japanese/index.html

10日

仙台的三十三観音専用御朱印帖作製教室

NPO法人楽遊ネットワーク宮城

NPO法人楽遊ネットワーク宮城事務局

※人数によっては会場が変更になる場合があります。

10:00～12:00頃

電話・FAX・メールにて受付致します

※材料を準備する都合上、事前の予約をお願い致します

3,000円(印刷済み本文、和紙等全材料費込み)

022-261-9869

022-261-0546

eikaiwa.usaclub@dream.ocn.ne.jp

http://www9.ocn.ne.jp/~eikaiwa/rakuyuu.html

16～24日

第42回地球の子ども通信国際交流事業

「日本の子どもたちによるシンガポール9日間

ホームステイプログラム」

地球の子ども通信(CCE)

022-376-5382(事務局)

20～24日

日本語を母語としない子どものための夏休み子ども教室

(公財)仙台国際交流協会、

仙台市青葉区中央市民センター

仙台市青葉区中央市民センター

(仙台市青葉区一番町2丁目1-4)

14:00～16:00(各日)
申込書にご記入の上、(公財)仙台国際交流協会までご提出ください。

無料

022-265-2480((公財)仙台国際交流協会

総務企画課企画係)

022-265-2485(同上)

a-kikuchi@sira.or.jp

http://www.sira.or.jp/japanese/index.html

21日

申請取次行政書士による外国人のための入管手続無料相談会

宮城県行政書士会

仙台市青葉区役所4階市民相談会会場

13:00～16:00

電話又は予約なしでもOK

無料

022-261-6768

FAX 022-261-0610

21～25日

地球環境を守る「植林事業視察」

宮城県日中友好協会

中国吉林省長春市九台

電話・FAX・メール

128,000円(空港使用料1,530円、燃油サ

ーチャージ12,000円を含まず)

022-274-3811

jcfa-miyagi@rose.plala.or.jp

http://www16.plala.or.jp/miyagikenn/

9月 SEPTEMBER

8日

石巻地域で暮らす外国人のための地震・津波防災研修会

国際サークル友好21、石巻市、公益財団法人宮城県国際化協会

石巻地区広域行政事務組合消防本部2F大会議室

13:30～15:30

電話・FAX

無料

0225-23-2863

0225-23-2865

第42回地球の子ども通信国際交流事業

「日本の子どもたちによるシンガポール9日間

ホームステイプログラム」報告会

地球の子ども通信(CCE)

仙台市桂市民センター(予定)

022-376-5382(事務局)

15日

せんだい地球フェスタ2013

せんだい地球フェスタ2013実行委員会

仙台国際センター

10:00～16:00

不要

入場無料

022-265-2480(実行委員会事務局:(公財)

仙台国際交流協会総務企画課内)

022-265-2485(同上)

festa@sira.or.jp

http://senfes2013.jimdo.com/

18日

申請取次行政書士による外国人のための入管手続無料相談会

宮城県行政書士会

※8月21日に同じ

19日

マリの母系社会と葬送儀礼

アフリカ・セミナーの会

仙台国際センター研修室

10:00～12:00

不要

700円

022-362-7907



「日本語教師の7つ道具シリーズ2 漢字授業の作り方編」

著:大森雅美、鈴木英子 発行:アルク

本書は、MIA日本語講座講師であり、地域日本語教室で20年にわたって活動してきた著者(鈴木英子さん)が、これまでの実践のなかで培ってきた漢字の教え方のノウハウを、わかりやすくまとめたものです。

漢字学習の難しさ、テキストの選び方、具体的な授業の例やアクティビティのアイデアなどが、これまでの参考書にはない「現場目線」で紹介されています。また、巻末付録の、さまざまな視点で分類された漢字リスト(初級者向けの基本漢字、生活者向けの漢字語彙、同音の漢字など)や絵カードは、それぞれの活動現場で大いに役立つことでしょう。

現在もMIA日本語講座の漢字クラスで教えている著者のポリシーは「漢字は楽しい!」。実際の授業もいつも笑顔と活気に満ちています。みなさんも本書を活用して、楽しく漢字を教えてみませんか?



このコーナーでは、MIA宮城県国際化協会の最近の動きをお知らせいたします。
いずれの件も、お問い合わせは ☎022-275-3796 E-mail mail@mia-miyagi.jp まで。お気軽にどうぞ。

ルーク・ハッフルの本当はおいしいイギリス料理

2013年6月8日(土)及び15日(土)の両日、現在県内に200名以上の会員を擁する「仙台男子厨房に入ろう会」(男厨会)とMIAの主催で、「ルーク・ハッフルの本当はおいしいイギリス料理教室」を開催しました。イギリス出身の国際交流員(CIR) ルーク・ハッフルが講師として2010年より栗原から蔵王まで県内7市・町の国際交流協会と共に開催してきたこの教室も、講師のCIR任期終了に伴い今回が最後となりました。

「今回は丸鶏をそのままオーブンで焼くローストチキン、旨味たっぷりのローストビーフ、そして茹で野菜とローストポテトも添えた豪快で栄養バランスのとれた本格的なイギリス料理を作りました。デザートには焼きリンゴの上にオート麦、小麦粉、シナモンなどをのせてカリカリに焼いたアップルクランブルに挑戦しました。男厨会の皆さまのおかげでイギリスの家庭料理をおいしく作り、味わうことができたと思います。7月末に仙台を去ることになり寂しい思いもありますが、宮城県の方々と楽しく料理を作ることができ、少しでもイギリス料理に興味を持っていただくことができたのであれば嬉しいです。」(ルーク談)



多文化なトピック

震災から2年を経た宮城の在住外国人の状況

東日本大震災から2年余りが経ちましたが、宮城県に住む外国人にはどのような変化があったのか、国籍別と在留資格別の観点から平成22年末と平成24年末のデータを比較します。

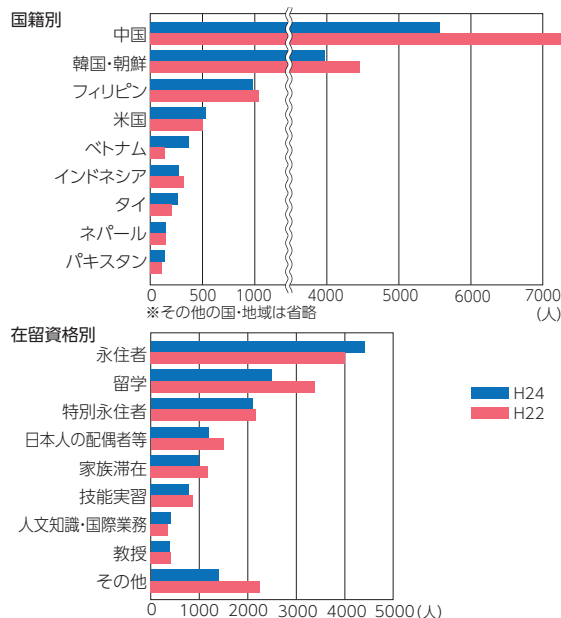
まずは全体数ですが、震災前の16,101人に対し、平成24年末は14,214人と1,900人弱の減少です。

国籍別では、中国、韓国・朝鮮、フィリピンという上位の順位に変動はありませんが、それぞれ人数が減っています。特に中国は30%近い減少です。

一方、米国、ベトナム、タイ、パキスタンが増加傾向にあります。

在留資格別では、「留学」が大きく減少しています。震災後、日本語学校の主に中国からの学生が激減しました。そんな中、「永住者」が400人以上増加しています。おそらく大半が「日本人の配偶者等」からの切り替えと考えられます。震災前までは横ばいまたは微増傾向だった「日本人の配偶者等」が一転大幅に減少していることから、ここ2年間で新たに宮城県に住む日本人と結婚し、来日した外国人は大幅に減っているものと見られます。また、技能実習生は水産加工業等の復旧復興とともに回復傾向にはありますが、震災前の水準には戻っていないようです。

※データはすべて法務省在留外国人統計による。



賛助会員募集

MIA(公財)宮城県国際化協会は、県民参加の幅広い国際交流を進め、人と人との輪を広げていくために、皆様の御理解と御協力を求めています。

●賛助会員の資格

本協会の趣旨に賛同し、運営活動に協力していただける個人や団体(国際活動団体、企業、機関)など

●賛助会員の区分と年会費

個人会員/1口 3,000円

団体会員/1口 10,000円

●賛助会員の特典

◎協会機関紙「みやぎの国際情報誌 倶楽部MIA」の定期送付(年6回)

◎「MIA多言語から版」(日・英・中・韓・葡)の定期送付(年6回)

◎当協会主催のイベントや各種講座の案内及び参加費の減免

◎個人会員については協会と提携する旅行会社が指定する国内外の旅行代金の一部割引

(株)JTB東北仙台支店

宮交観光サービス(株)

●入会方法

◎本協会まで御連絡ください。

◎所定の申し込み用紙と振り込み用紙を送付いたします。



倶楽部MIA vol.68

編集・発行 公益財団法人 宮城県国際化協会
〒981-0914

仙台市青葉区堤通雨宮町4番17号

宮城県仙台合同庁舎7階

TEL 022(275)3796

FAX 022(272)5063

E-mail mail@mia-miyagi.jp URL http://mia-miyagi.jp/